



先進的まちづくりシティコンペ

Japan Innovative Cities Award

趣旨

・日本の都市が国際競争力を高め発展を続けていくため、また、まちを形づくる諸活動を活性化し活力を維持していくためには、先進的なまちづくりのノウハウを活用するとともに、海外に対するプロモーションを積極的に行う等により、投資・立地・誘客を含む域外の需要の創出や取込みを図っていく必要があります。

・このため、国土交通省では、先進的まちづくりの取組を国内外に広く情報発信することを目的として、平成28年度より、都市の課題の解消や次世代型都市空間の創出を行う先進的な取組を表彰するコンペとして「先進的まちづくりシティコンペ」を実施しています。

募集対象

・都市課題の解消や次世代型都市の創出に資する最先端技術を活用した取組や、新しいまちづくり手法(資金調達、マネジメント、PPP等)等を活用し、先進的なまちづくりを行っている都市及び実施主体。

応募資格

・先進的まちづくりを行っている地方公共団体又は民間団体等(企業、NPO、協議会等)

審査方法

・有識者等による審査会において①先進性・独自性、②持続性・継続性、③都市課題の解決、④普及可能性等の観点から審査。

【第3回（2018年度）】

【国土交通大臣賞】

●「こけし育む 健康・湯の里 土湯温泉」をめざした
復興再生のまちづくり

（土湯温泉町地区まちづくり協議会）



●新たな郊外都市モデル構築に向けた“公民+学”連携の
まちづくり

（（一社）美園タウンマネジメント）



●健幸なまちづくりを実現するコンパクトシティの形成
～人口減少社会に対応して都市部と村部が持続するまち～

（見附市）



●堺市における下水道再生水複合利用事業

（堺市上下水道局）



●日本初の官民連携見守りサービス

（加古川市）



【第1回（2016年度）】

【国土交通大臣賞】

●室蘭グリーンエネルギータウン構想

（室蘭市）



●柏の葉スマートシティ

（三井不動産(株)）



●大手町・丸の内・有楽町地区のエリアマネジメント

～東京駅周辺エリアにおける
サステナブルデベロップメントの取組～
（（一社）大手町・丸の内・
有楽町地区まちづくり協議会等）



●SMA×ECO TOWN晴美台

（大和ハウス工業(株)）



●みんなの未来区 BONJONO(ボン・ジョーノ)

ーシェアタウン プロジェクトー
（一社）城野ひとまちネット



【第2回（2017年度）】

【国土交通大臣賞】

●二子玉川ライズの街づくり

（二子玉川ライズ協議会）



●「並木横丁いこいこ」まちなか空店舗再生創業事業

（(株)飯田まちづくりカンパニー）



●産学官民連携による地域と市民が主役のまちづくり

～日向市駅を核とした地域の宝を
活かしたまちづくりの取組～
（日向市、等）



【審査委員会特別賞】

●人口10万人のむらを目指す、たかが100人、
されど100人のむらづくり物語

（伊座利の未来を考える推進協議会）

